

令和3年4月1日

車両のブレーキが戻らずタイヤを焼損した火災

1 出火日時

11月00日 午前10時00分

2 火災概要

発見者によると、白煙を上げながら走行する中型トラックが現れ、目の前を通りすぎたところで左前タイヤがバースト、数十メートル進んで停車したため追いかけたところ、右前タイヤもバーストし、右タイヤ付近から火が出ているのを確認したとのこと。

付近事業所の従業員により初期消火と119番通報が行われ、タイヤの焼損のみで火は消し止められた。

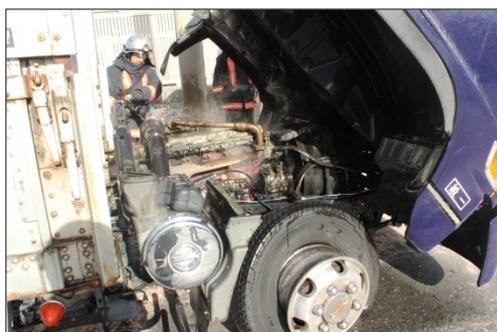
3 原因概要

ブレーキバルブ部分の錆つきにより、ブレーキペダルが正常な位置に戻らず、ブレーキライニングがドラムに押し付けられた状態で走行を続けたため、摩擦により過熱したドラムの熱がホイールからタイヤに伝わり発火したものの。

4 教訓

運転手は、火災に至る数km手前で右前輪から煙が出ていることに気付いている。また、走行中、常にブレーキが効いている感覚があったと話している。このように、車両火災や故障の多くは、なんらかの前兆現象を伴うことが多く、異変を見過ごさない意識が大切である。

また、運転手によると、水産物の積込み作業により海水が付着したままの靴で運転することがあったと説明された。このような習慣が部品の劣化を早め、結果的に火災に至った可能性が高い。部品の劣化防止や、点検整備を怠らないことが大切である。



▲消火状況



▲バーストした右タイヤ（一部焼損）

担当：予防課
連絡先：0226-22-6693